



2021年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年7月13日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社キャンドウ
 コード番号 2698 URL <http://www.cando-web.co.jp>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）城戸 一弥
 問合せ先責任者（役職名）管理部 部長（氏名）飯田 徹 TEL 03-5331-5124
 四半期報告書提出予定日 2021年7月13日 配当支払開始予定日 2021年8月25日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有・無
 四半期決算説明会開催の有無：有・無（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年11月期第2四半期の連結業績（2020年12月1日～2021年5月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2021年11月期第2四半期	37,353	1.4	1,044	17.1	1,082	15.8	472	13.2
2020年11月期第2四半期	36,854	3.2	891	2.3	934	0.5	417	△7.3

（注）包括利益 2021年11月期第2四半期 499百万円（△4.6％） 2020年11月期第2四半期 523百万円（11.7％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年11月期第2四半期	29.66	—
2020年11月期第2四半期	26.25	26.20

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2021年11月期第2四半期	28,569	12,961	45.4	811.91
2020年11月期	28,379	12,575	44.1	786.71

（参考）自己資本 2021年11月期第2四半期 12,961百万円 2020年11月期 12,528百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年11月期	—	8.50	—	8.50	17.00
2021年11月期	—	8.50	—	—	—
2021年11月期（予想）	—	—	—	8.50	17.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有・無

3. 2021年11月期の連結業績予想（2020年12月1日～2021年11月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	74,100	1.5	1,692	8.6	1,772	7.8	463	5.2	29.07

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有・無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有・ 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有・ 無

(注) 詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有・ 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 有・ 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 有・ 無
 ④ 修正再表示： 有・ 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年11月期2Q	16,770,200株	2020年11月期	16,770,200株
② 期末自己株式数	2021年11月期2Q	806,237株	2020年11月期	844,737株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年11月期2Q	15,948,273株	2020年11月期2Q	15,917,515株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2020年12月1日から2021年5月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、3度目の緊急事態宣言が10都道府県に拡がり、期間も延長されるなど、依然として厳しい状況が続きました。

小売業界におきましては、節約志向が高まる一方、衛生関連商品や巣籠り消費関連は好調ながら、ワクチン接種の促進状況によっては、感染動向が経済に与える影響に十分注意する必要があります。

こうした状況のなか、当社グループは、さらなる成長を実現するために、2021年11月期からの3ヶ年について定めた中期計画『Next3』の推進をしております。当連結会計年度におきましては、「顧客満足度」を追求し、お客様の目線による「商品」と「店舗」のブラッシュアップを重ね、確実な品揃えと快適で利便性の高いお買い物空間の提供に取り組んでまいりました。また、他価格帯商品のラインナップの拡充、契約形態の多様性による積極的な出店やリニューアルも継続してまいりました。

出店・退店につきまして、直営店舗におきましては、引き続き商業施設・路面店を主軸として出店を推進し、また、第2四半期より売上高の拡大と収益体質の強化を目的とした、委託店舗の出店をスタートさせました。FC店舗におきましては、大手法人企業との連携強化を図り、フランチャイズ契約等による出店を推進させました。その結果、新規出店数は、58店舗（直営店23店舗〔委託店含む〕、FC店35店舗）、退店が29店舗となり、店舗数は29店の増加となりました。これにより、当第2四半期連結会計期間末における店舗数は1,128店舗（直営店719店舗〔委託店含む〕、FC店402店舗、海外FC店7店舗）となりました。

商品につきましては、『お客様のニーズに対応する品揃え』を軸に、新商品開発と、付加価値向上への取り組みに推進してまいりました。新商品開発におきましては、他価格帯商品の拡充、新しい生活様式に対応する商品開発及びシーズンディレクションマップに基づく商品開発を推進し、お客様のニーズに対応する確実性の高い商品化に努めてまいりました。また、付加価値向上への取り組みにおきましては、商品ラインナップの拡充と品揃えの精度向上、グループ企業活用による商品調達力の強化に努めてまいりました。SNSによる情報発信と情報分析は継続して推進し、「キャンドウ」ブランドの認知度向上と付加価値向上を図ってまいりました。

売上高に対する原価率は、他価格帯商品の導入や出店強化を進めるFC店の売上構成比が上昇したことにより、前年同期比では、0.1ポイント増の61.8%となりました。

店舗につきましては、『お客様の期待に応え続ける店舗づくり』を軸に、店舗における「品揃え」・「接客」・「利便性」の向上に努めてまいりました。品揃え面では、POSデータと本部情報を活用し個店ごとの品揃えと在庫量の最適化を推進してまいりました。接客面では、目指す接客の在り方を明確化し、全店に浸透させる教育体制の基礎作りに努めてまいりました。また、利便性の面では、決済手段の拡充を図るとともに、提供する価値を全国のお客様にお届けすべくパートナー企業様との協業等による出店を推進してまいりました。需要の高いマスク・除菌関連を中心とした衛生関連商品等の販売を強化するとともに、生活必需品の継続供給に努めましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、緊急事態宣言が再発出され、外出の自粛や都道府県を跨いだ移動の減少による大都市店舗の売上減少、テナントとして出店している商業施設の営業時間の短縮などの減少要因もあり、直営既存店売上高につきましては前年同期比で、96.8%となりました。

販売費及び一般管理費合計の売上高比率は人件費の減少により、前年同期比で0.5ポイント減少となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は売上高373億53百万円（前年同期比101.4%）、営業利益10億44百万円（前年同期比117.1%）、経常利益10億82百万円（前年同期比115.8%）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億72百万円（前年同期比113.2%）となりました。

各事業の業績は、直営店売上高320億48百万円（構成比85.8%、前年同期比99.8%）、FC店への卸売上高47億62百万円（構成比12.8%、前年同期比108.5%）、その他売上高5億41百万円（構成比1.5%、前年同期比149.5%）となりました。

なお、セグメントの実績については、当社グループは単一セグメントのため記載していません。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

① 資産

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は285億69百万円であり、前連結会計年度末に比べ1億89百万円増加いたしました。その主な要因は、「商品」が1億58百万円増加、「未収入金」が1億35百万円増加、「建物及び構築物（純額）」が1億37百万円増加、「現金及び預金」が1億48百万円減少したこと等が挙げられます。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は156億7百万円であり、前連結会計年度末に比べ1億96百万円減少いたしました。その主な要因は、「電子記録債務」が4億69百万円増加、「買掛金」が1億61百万円減少、流動負債の「その他」が4億96百万円減少したこと等が挙げられます。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は129億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億85百万円増加いたしました。自己資本比率は45.4%となりました。

④ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動により11億9百万円増加、投資活動により11億22百万円減少、財務活動により1億35百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は41億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億48百万円減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は、11億9百万円であります。主な要因は、税金等調整前四半期純利益8億65百万円、減価償却費5億72百万円、仕入債務の増加額3億8百万円が増加要因であり、法人税等の支払額4億66百万円が減少要因であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は、11億22百万円であります。主な要因は、有形固定資産の取得による支出9億55百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により減少した資金は、1億35百万円であります。要因は、配当金の支払額1億35百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年11月期の業績予想につきましては、2021年1月14日に発表いたしました予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,283	4,135
売掛金	748	736
商品	6,256	6,415
未収入金	1,976	2,112
その他	662	596
貸倒引当金	△20	△21
流動資産合計	13,906	13,974
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,294	5,432
その他(純額)	1,223	1,281
有形固定資産合計	6,517	6,714
無形固定資産	691	638
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,471	5,461
その他	1,808	1,795
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	7,264	7,241
固定資産合計	14,473	14,594
資産合計	28,379	28,569
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,782	3,620
電子記録債務	4,919	5,389
未払法人税等	596	530
賞与引当金	3	3
資産除去債務	29	27
その他	1,993	1,496
流動負債合計	11,324	11,068
固定負債		
退職給付に係る負債	2,097	2,166
資産除去債務	1,762	1,779
負ののれん	247	228
その他	372	364
固定負債合計	4,479	4,538
負債合計	15,804	15,607

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,028	3,028
資本剰余金	3,068	3,082
利益剰余金	7,682	8,020
自己株式	△1,210	△1,155
株主資本合計	12,569	12,976
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△4	3
退職給付に係る調整累計額	△36	△18
その他の包括利益累計額合計	△41	△14
新株予約権	46	—
純資産合計	12,575	12,961
負債純資産合計	28,379	28,569

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)
売上高	36,854	37,353
売上原価	22,728	23,088
売上総利益	14,126	14,264
販売費及び一般管理費	13,234	13,220
営業利益	891	1,044
営業外収益		
受取事務手数料	7	6
負ののれん償却額	19	19
その他	25	20
営業外収益合計	52	46
営業外費用		
為替差損	0	2
雑損失	7	4
その他	0	1
営業外費用合計	9	8
経常利益	934	1,082
特別利益		
受取補償金	29	22
新株予約権戻入益	8	6
特別利益合計	37	29
特別損失		
固定資産除却損	46	38
減損損失	149	197
原状回復費用	—	11
特別損失合計	196	246
税金等調整前四半期純利益	776	865
法人税等	358	392
四半期純利益	417	472
親会社株主に帰属する四半期純利益	417	472

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益	417	472
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	1	8
退職給付に係る調整額	103	18
その他の包括利益合計	105	26
四半期包括利益	523	499
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	523	499
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	776	865
減価償却費	545	572
減損損失	149	197
負ののれん償却額	△19	△19
長期前払費用償却額	36	37
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3	0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	80	76
退職給付に係る調整累計額の増減額 (△は減少)	103	18
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	0	—
為替差損益 (△は益)	0	2
固定資産除却損	46	38
原状回復費用	—	11
売上債権の増減額 (△は増加)	△61	11
たな卸資産の増減額 (△は増加)	405	△158
仕入債務の増減額 (△は減少)	△559	308
未収入金の増減額 (△は増加)	△51	△135
未払金の増減額 (△は減少)	△58	△73
その他の資産の増減額 (△は増加)	129	78
その他の負債の増減額 (△は減少)	308	△269
その他	57	14
小計	1,894	1,576
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△0	—
法人税等の支払額	△236	△466
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,657	1,109
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△629	△955
無形固定資産の取得による支出	△5	△95
資産除去債務の履行による支出	△144	△39
長期前払費用の取得による支出	△16	△13
敷金及び保証金の差入による支出	△84	△122
敷金及び保証金の回収による収入	112	103
投資活動によるキャッシュ・フロー	△768	△1,122
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△135	△135
自己株式の取得による支出	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△135	△135
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	753	△148
現金及び現金同等物の期首残高	4,190	4,283
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,943	4,135

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り）

新型コロナウイルス感染症の拡大により、当社グループにおける一部の販売商品やお客様の来店動向等が変化しております。当社グループでは、固定資産の減損会計等の会計上の見積りにおいて、緊急事態宣言が発令された期間内における店舗の営業状況等を踏まえ、当四半期連結財務諸表作成時までに入手可能であった6月以降の店舗売上等の実績を考慮し、当第2四半期連結累計期間の見積りに大きな影響を与えるものではないと判断しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社グループは、日用雑貨及び加工食品の小売店舗チェーン展開を主たる目的とした単一事業であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。